

第3回（仮称）青森市教育振興基本計画検討会議 会議概要

1 開催日時

平成27年10月26日（月） 16:00～18:00

2 場所

教育研修センター5階大会議室

3 出席者

（1）教育委員

佐藤委員長、佐藤委員長職務代行者、石澤委員、斎藤委員、月永教育長

（2）検討委員

山谷委員、前田委員、蛭名委員、矢野委員、近藤委員、嶋中委員、

増田委員、奥委員、大坂委員、西村委員、内海委員、成田委員、熊谷委員

※欠席者：木立委員

（3）事務局

成田教育部長、横山理事、工藤教育次長、平田浪岡教育事務所長、八木澤総務課長、

杉山社会教育課長、木村文化スポーツ振興課長、木浪中央市民センター館長、

白取文化財課長、渡邊市民図書館長、高橋学務課長、工藤学校給食課長、

石岡指導課長、山内教育課長、中央市民センター鈴木主幹、市民図書館村上主幹、

総務課泉

4 会議概要

(仮称) 青森市教育振興基本計画 (素案たたき台) について

総論について

発言者	発言内容
委員	第6現状と課題について、「障がいのある子どもを含む全ての子ども」となっているが、「全ての子ども」と記載しているので、「障がいのある子どもを含む」という文言は不要ではないか。
事務局	御指摘のとおり削除する。
委員	現計画では、「文化・芸術」となっているが、たたき台では「文化芸術」となっている。理由があるのか。
事務局	国の計画等では、現在、「文化芸術」という文言が使われているため、これに合わせた。

基本施策1について

発言者	発言内容
委員	施策1-2 施策の展開②について、「小中連携を通して、教員の専門性や得意分野を生かした教科担任制、チーム・ティーチング、少人数指導の導入など、指導体制を工夫します。」とあるが、少人数指導などは小中連携でなくても取り組める。この小中連携は、どこまでかかるのか。
事務局	御指摘のとおり、小中連携はチーム・ティーチングまでかかる。
委員	施策1-2 施策の展開①について、「主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆるアクティブラーニング）を取り入れた授業づくりを実施します。」とあるが、既にアクティブラーニングは実施しているので、「推進します」などの前向きな文言の方が良い。
委員	基本施策1現状及び課題について、「本市の結果も概ね満足のいくものとなっています」は曖昧な表現であるため、再検討してほしい。

基本施策 2 について

発言者	発言内容
委員	施策 2-1 施策の展開①について、いじめられている子どもは、自分でいじめられているということを言えなくなる。教職員が児童生徒の変化に気付く観察力（子どもを見抜く力）の強化が必要である。
委員	施策 2-4 現状及び課題について、「理数科の大切さについては、理解されているものの、学年が上がるにつれ、好きと答える割合が低くなる傾向にあります。」となっているが、基本施策 5-4「理数教科の大切さについて理解しているとともに、観察や実験を好んでいる傾向となっている」との整合性が図られていない。
委員	施策 2-1 施策の展開①について、小学校では「子どもを語る会」を週 1 回という割合では開催していない。随時開催している。再検討してほしい。

基本施策 3 について

発言者	発言内容
委員	施策 3-2 現状及び課題について、「肥満傾向のある児童生徒を減らす取組」という文言はきつくないか。もう少し柔らかい表現とすべき。
委員	施策 3-5 現状及び課題について、日本スポーツ振興センター災害共済制度については、現在、市で実施している医療費無料化との整合性が図られていない。

基本施策 4 について

発言者	発言内容
委員	施策 4-3 現状及び課題について、「ある広告代理店（電通総研）」という文言は不要である。

基本施策 5 について

発言者	発言内容
委員	施策 5-5 について、「本市の独自文化である版画」という表現は不適切である。また、取組内容が版画のみになっているがいいのか。

基本施策 6 について

発言者	発言内容
委員	施策 6-4 施策の展開③について、医療費の無料化について記載しなくていいのか。
事務局	医療費の無料化については、健康福祉部の事業であるため記載はしない。

基本施策7について

発言者	発言内容
委員	基本施策7現状と課題について、教員の多忙化については、国・県において解決策が話し合われているという段階は終わり、調査・検討に入っている。
委員	施策7-1 施策の展開②について、鹿児島県の出水市では小規模校があっても一度も統廃合を実施していない。学校の統廃合が必ずしも良いことではないのではないかと注目されている。

基本施策8について

発言者	発言内容
委員	基本施策7では「質の高い教育」を、基本施策8では「質の高い学び」としているが、使い分けているのか。
事務局	指導課と調整する。
委員	施策8-3 施策の展開①について、学校の安全・安心は施設だけではなく、ウィルス対策などの機器の安全・安心も必要である。
委員	施策8-3「質の高い教材等の整備」について、八戸市で導入しているような校務用パソコンのネットワークを構築している。青森市も教職員のネットワークの構築も視野に入れた方がいい。

基本施策9について

発言者	発言内容
委員	施策9-1 施策の展開③について、学校支援活動への企業等の活用について、県の「教育支援プラットフォーム」について記載されているが、施策5-2と整合性が図られていない。

基本施策10について

発言者	発言内容
	なし

基本施策11について

発言者	発言内容
	なし

基本施策12について

発言者	発言内容
	なし

基本施策 13 について

発言者	発言内容
委員	施策 13-1 現状及び課題について、外国語指導助手・国際交流員の活動内容について、現状と異なる記載となっている。また、国際交流員の活用がなされていない。
委員	施策 13-3 現状及び課題について、「異文化への相互理解」という記載があるが、言葉の意味が分からない。

基本施策 14 について

発言者	発言内容
	なし

基本施策 15 について

発言者	発言内容
	なし

基本施策 16 について

発言者	発言内容
委員	基本施策 16 の中に、「祭りの文化的価値」について触れることはできないか。

基本施策 17 について

発言者	発言内容
	なし

基本施策 18 について

発言者	発言内容
	なし

基本施策 19 について

発言者	発言内容
	なし

基本施策 20 について

発言者	発言内容
	なし